

## 第21回 「なぜなぜ分析」ワンポイント応用編

ここでは、拙著の本に紹介していない応用編について、紹介したいと思います。（ただし、いつか活字になるかも(?)しれません。お約束できませんが……）

あわせて、「なぜなぜ分析」の基本については、ぜひ当社ホームページ、インフォメーションに記載の書籍等をご覧ください。

2006年 9月 11日

有限会社 マネジメント・ダイナミクス

小倉 仁志

[jjin-ogura@management-dynamics.co.jp](mailto:jjin-ogura@management-dynamics.co.jp)

### 「～が悪い」の表現の放置は、高品質づくりの障壁になる？！

未だに良く見かける表現に「～が悪い」というものがあります。

拙著「なぜなぜ分析徹底活用術」には、「～が悪い」は禁句であると書いてあるのですが、簡単に書きすぎているせいかもしれません。（自分に反省！）

そこで、改めて申し上げます。

**「～が悪い」は決して使ってはいけない と。**

なぜかという、「センサーが悪い」といっても、

- ・ センサーの検知速度が製品の搬送速度にあっていないのか
- ・ センサーの検知範囲が狭いのか
- ・ センサーと検知物との距離が遠すぎるのか
- ・ センサーからの光軸が反射板に合っていないのか
- ・ センサーの感度が低下しているのか

のどれなのかがさっぱりわかりません。

このまま「センサーが悪い」で、議論を続けても、他の人は自分と同じように「悪さ」を考えているとは限りません。

ある人は、速度のことを考えて「悪い」を考えているかもしれませんし、また別の人は距離のことを考えて「悪い」を考えているかもしれません。

つまり、このまま議論を続けると、お互いの考え方にズレがあっても、気がつかないで話が進んでいってしまう危険性があります。

とくに、最近は何ものづくりに高品質が求められてきており、それはすなわち技術的に高度なものが要求されてきていることに他なりません。

高度な技術を使いこなすには、ものづくりにたずさわる方々が、モノの捉え方や、モノに対する考え方に緻密さを持たなければなりません。

そのためには、決してこのような漠然としすぎた捉え方や考え方につながる表現を許してはならないのです。

皆さんの周りには、まだまだ「～が悪い」を連発する人はいませんか。

そんなときには、ぜひ切り返してあげてください。

「～が悪い」って何のどのようなことを言っているのですかと……。

でも、普段はほどほどに。 では、また。

以上